

# あしやわがまち通信

Our town communication Ashiya

発行  
「市民が創る情報紙プロジェクト」  
地域福祉アクションプログラム  
推進協議会  
TEL/FAX 0797(31)6930

2013年3月23日発行

「ご存知ですか。」



地域福祉アクションプログラム  
推進協議会 会長  
上野 義治

第2次芦屋市地域福祉計画は、2012年の3月に策定されました。計画案を検討するプロセスにおいて、市民による検討部会は、地域が求める当面の課題を取り上げました。そして3つのプロジェクトが計画に盛り込まれたのです。

その市民プロジェクトは、①わがまちベンチ②市民が創る情報紙③ひとり一役運動の三つです。

計画の策定後に、プロジェクトチームが発展的に推進協議会を組成し市民と行政で構成する「地域福祉アクションプログラム推進協議会」が誕生しました。

その目的と役割は、第2次計画で打ち出したアクションプログラムを進めていくことにあり、「推進評価委員会」の審議を経て、第3次計画へつなぐ大切な職務をもっています。

その具体的な活動目標は、「たすけ上手、たすけられ上手」（スローガン）のもとに、①住民の公募デザインによる「なかよしベンチ」を全町に最低1台設置すること②市の「広報」を補う住民手づくりのミニコミ紙を発行すること③住民だれもがもつ得意の分野で地域の支え合いに貢献することです。

芦屋市は、市民同士が声をかけ合うまち、市民が互いに活動を伝え合うまち、潜在的な住民力を出し合うまちを目指し、大きな「きずな」で結び合います。「公共」を住民自治型の構造によって築き、障がいや階層の壁を越えて、世代間の交流のもとに、住民が一体となって、福祉コミュニティを形成することこそ急がれます。

## 「わがまちベンチプロジェクト」って？

「おとなり どうぞ」「あいてますよ よかったらどうぞ」

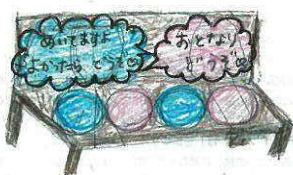
と描かれたベンチが、市内の五ヶ所に置かれています。道行く人に話しかけるようなメッセージに「このベンチは何？」と不思議に思われた方もいるかもしれません。

市民会議で芦屋市民のさまざまな悩みの中で認知症の家族を持つ方の、「お散歩の途中にちょっと一休みできたらもっとゆっくりできるんですが・・・」という言葉に呼応するように、体に障がいのある方から、「そうです！特に最近増えている、外からは分からなくても、内部に障がいのある人にはちょっとした休む所が必要なんです」という意見が出ました。この小さな一つの困りごとに目を向けようと話が進みました。一休みできるベンチがあると、そこで挨拶が交わされたり、とりとめのない会話からでも知らないことを教えられたり知らせたりできる。誰かと声をかけ合う小さな仕掛け（ベンチ）をまちのあちこちに創って、そこから地域に住む幸せ（地域福祉）が生まれてくるかもしれないと信じ、この「わがまちベンチプロジェクト」は進んでいます。

### 地域福祉とは

地域福祉とは、人と人とのつながりを大切に、お互いに助けたり助けられたりする関係や仕組みをつくり、わたしたちの生活のなかで起こるさまざまな「困りごと」にきめ細かく応える「地域にねぎした福祉」です。

## ベンチデザイン & 名前募集入賞作品



最優秀作品 西尾萌衣さん



JR北いこいの広場

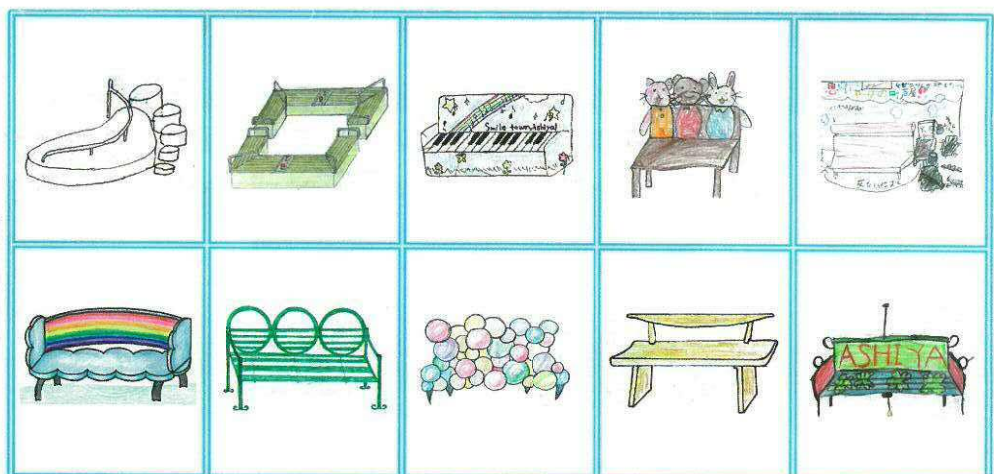
まこてベンチ

福祉センター



芦屋市役所

奥池集会所



入賞作品



## 「市民が創る情報紙」

今、まちには情報があふれています。活字、ネット等あらゆる所に色々な情報があり、それを必要としている人が探し求め手に入れる事が出来るようになっていますが、ほんとうにご自身が求めている情報でしょうか？なにか足りないような気がしているのではないのでしょうか。もうすこし深く、もうすこし広く、と考えた時にその情報にもっと専門性を含んだものだったりするのではないのでしょうか。

ある時、地域福祉の策定委員会会議の時雑談かなにかで色々な専門団体やボランティア団体が発行している機関紙の中に自分にほしい情報があった時に、それはどこにいけば得る事が出来るでしょうかという話があり、そんな中から伝えたい側からの一方的な情報発信ではなく、知りたい側が情報を見つけ発見する、そんな情報紙が作ればおもしろいのではないか、そんな疑問からこのプロジェクトは出発しました。

どこまで出来るかわからない手探りの中からのスタートですが行政、民間の力をかりていきたいと思います。

## 一人ひとりが「できること」で参加する ひとりー役運動

私たちのプロジェクトは、「地域の中での人や団体のつながりが無くなってきている」という課題を考えることから生まれたプロジェクトです。自治会や福祉団体、ボランティア団体の活動に、新しい方になかなか参加してもらえない。活動を一緒にすることにより生まれるつながりがあります。自治会ではそれが、地域のつながりに発展しますが、そのきっかけがつかめない。それには、「自治会活動や、ボランティア活動って、大変そうなので、はじめにくい」という思いがあるかもしれない。それなら、“それぐらいだったらできるわ”という役割をたくさん作って、それを担ってもらおう。また、資格や、特技を持った方が、それを活かして活動をする。

一人ひとりが何か一つの役割を担っていけば、活動も大きくなるし、つながりもできる。それが“ひとりー役運動”なのです。まずは、「少しなら協力できる人」や「あと一押しすれば活動に参加しそうな人」、「資格や特技を持って活動できる人」に、参加を呼びかけ、“あしや役立ち隊”として登録していただき、地域の中でのさまざまところで、役立っていこうとスタートしたところです。

# 第1回 市民が創る福祉プロジェクト展

## つながろう!!「芦屋」

～たすけ上手、たすけられ上手で住みよく楽しいまちづくり～

2012年3月17日(土) 13:00～16:00 ラポルテホール

- ◎ベンチデザインの展示 ◎市内の情報紙展示 ◎あしや役立ち隊紹介 ◎A-Iプロジェクトの紹介
- ◎バルーンアートの実演 ◎やさしい防災・減災カルタの紹介などを行いました。



ベンチデザイン&名前募集優秀作品表彰式



実行委員会委員長 若林 益郎



会場風景



会場風景



最優秀賞 西尾萌衣さんとはばタン



# 茶屋之町 みんなで集う秋イベント ちやや秋まつり開催しました!

茶屋之町は、芦屋市の中心に位置する、住宅とさまざまなお店が立ち並ぶ町です。自治会として活動をしている中で、いいお店がたくさんあるにもかかわらず、地域住民とお店とがお互いの事を知らないのではないか?との疑問から、町をさらに魅力的にするために何かできないかと考えるようになりました。

2012年10月27日(土曜)茶屋公園で「第3回ちやや秋まつり」を開催しました。今回は相愛大学音楽学部(大阪市)の学生有志の皆さんをお招きし、ブラスバンドの演奏と、お子様向けに楽しいゲームコーナーをつくり、また町内の商店の出店ご協力で賑わいのあるイベントが開催できました。当日の様子をちょこっとご紹介いたします。



自治会として、2010年に「餅つき大会」を実施しましたが、経費がかかり、何か別のことをしようと相談していたところ、奥池南町の方たちが「ハイランドエコー」というコーラスグループを新しく作られたのを知り、そのグループの発表も兼ねて、奥池町「冬まつり」は「虹の輪コンサート」と「バルーンおじさん」も出演の「子供たちも飲むコンサート」にしようということになりました。「夏まつり」を芦屋ハイランド自治会(奥池南町)が毎年夏休みに実施していることから「冬まつり」と呼んでいます。

2つの自治会で3つの目標を立て、集会所がコミュニティセンターのように、もっと人が集まるような企画をこれからもしていきたいと考えています。

- 3つの目標とは・・・
- ①奥池地区集会所がどんな災害時でも安心できる避難場所であってほしい。
  - ②奥池らしい自然と環境を守り庭園都市のモデル地区を目指す。
  - ③高齢者の保健・福祉モデル地区を目指す。

**奥池 冬まつり**

日時 平成24年12月23日(日) 午後1時～3時(予定)

場所 奥池地区集会所(芦屋市奥池町1-1-1)

プログラム

- ①コンサート(第一部)午後1時～1時30分
- ②楽しい園遊会 午後1時30分～45分
- ③コーラス(虹の輪) 午後1時45分～2時15分  
入場料お断り 15分(前)、入場料お断り 15分(後)
- ④コンサート(第二部)午後2時30分～3時
- ⑤楽しい園遊会 午後3時00分～15分

午後3時30分に園遊会終了後、餅つき大会を行います。  
餅つき大会は、奥池地区集会所(芦屋市奥池町1-1-1)で行われます。餅つき大会は、奥池地区集会所(芦屋市奥池町1-1-1)で行われます。餅つき大会は、奥池地区集会所(芦屋市奥池町1-1-1)で行われます。

奥池町自治会主催





## 楠町自治会

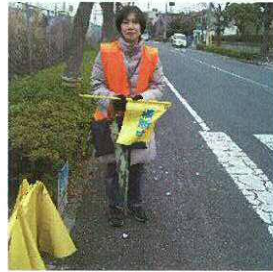
『無理なく、誰でも、いつでも』

楠町自治会会長 石原 正紀

楠町安全会代表 見並 厚

「楠町安全会」は「楠町防災会」と「楠町防犯パトロール隊」を統合して、楠町自治会の下部組織として発足しました。「防災」については、楠公園に防災倉庫が設置され、その資材・装備を実際に使用体験しながら、防災訓練を年に1、2回行い、装備の保守・点検を行っています。「防犯」は週に1回、昼の部では月曜隊から金曜隊の5隊(約22名で)に分かれ、主に小学生の低学年を対象に下校時の見守りを行い、夜の部は日曜隊から土曜隊までの7隊(約39名で)で、町内一周、約2kmを、寒い日も暑い日も、パトロールをしています。このパトロール隊は発足から8年が経ち、隊員が高齢化しており、若手隊員の参加が望まれます。

最近の問題としては、小学生が登校する時のJRの踏切です。朝のラッシュ時は踏切が閉まっている時間が長いので、数十人の児童が溜まり、やっと踏切が開いても児童が渡っている途中で警報機が鳴り出し、生徒は閉まってしまった遮断機を迂回することになります。踏切が開くのを待っているのは児童だけでなく、通勤の車、自転車、乳母車など様々です。その中でも問題は車です。通勤で急いでいるので、警報機が鳴り出しても強引に渡ってヒヤリとします。これでは事故が起こることが予想されたので、宮川交番をお願いして、現在は警察官の立会いをして頂いており、非常に心強く思っています。この踏切については、市にお願いして車道・歩道の改善をして頂きましたが、抜本的な改善策が望まれます。



## 岩園町自治会

『お互いが声をかけあい、お互いの顔が見える街に』

岩園町自治会会長 南波康道

阪神・淡路大震災後、長らく休眠状態にあった自治会を昨年夏に再開しました。「安全で安心して暮らせる美しい街づくり」をめざして、まずは「住民の皆さんがお互いに声をかけあい、お互いの顔が見える街にしたい」と考えています。さらに一日も早く岩園町全体の自治会となることを願って、「やっぱり自治会があってよかった」と感じていただけるように、自主防災会・防犯会・老人会そして民生委員さんたちと価値観を共有し、行動したいと願っています。また、皆さんに情報提供をすべく「いわぞの自治会だより」を継続して発信し、名実ともに「いい街」にしたいと活動していきます。



### 健康は食生活から

### 芦屋いずみ会

日本人の平均寿命は世界でもトップクラスといわれています。誰でも元気で生き生きと、長寿を全うしたいものです。しかし、年をとると、つい手間を省いて粗食になったり、好きなものばかり食べすぎて栄養のバランスを崩してしまい、その結果肥満や高血圧、糖尿病等の生活習慣病を患う人が増加しております。

病院のベッドで「寝たきり」の長寿では、うれしくありません。

長寿の人の食生活を調べてみると、ほとんどの場合、好き嫌いがなく、いろいろな種類の食品を食べているのです。

生活習慣病を防ぐためには、三度の食事を規則正しく食べること、栄養のバランスを考えて料理に使う食材の品数を増やすこと、家族揃って楽しい食事を心がける、一人暮らしの人にも時には、親しい友人と会食するのもストレス解消になるのです。「会話はもう一品のおかず」です。健康長寿を目指して自分の健康は自分で管理しましょう。

### 編集後記

無縁社会といわれる様に地域の繋がりが希薄になっています。「地域をなんとかしたいと思っているが、何をすれば良いのか分からない」とのご意見をよく耳にします。

私たちは「市民が、市民のために、市民が楽しめる情報紙をつくろう」をキャッチフレーズに市民を中心とするメンバーで毎月1～2回集まって、約1年間話し合いを行いました。

今回は、地域のつながりづくりに取り組んでいる自治会を中心にとりあげました。

取材にあたっては、プロの方にボランティアで撮影をお願いし、記事についても、メンバーで分担しました。取材にご協力いただきました皆様にお礼を申し上げますとともに、この情報紙の活動が長く続くようになりたいと思います。

今後もより良い情報紙となるために、お気づきの点などがありましたらご意見をお聴かせください